



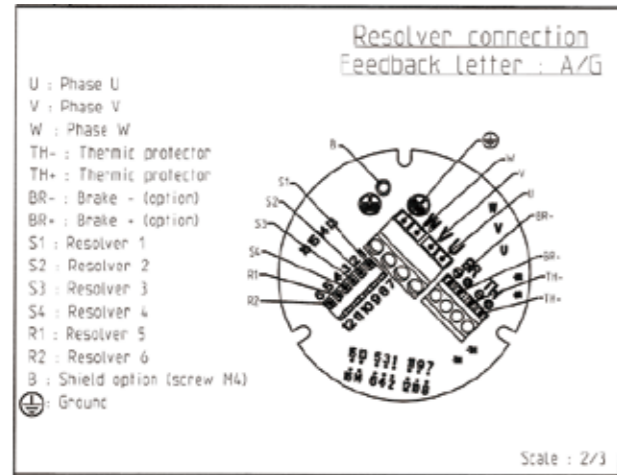
COMPAX3 ドライブ & ATEX 仕様モータのご使用上の注意事項

1) レゾルバケーブルと COMPAX3 の接続について

ケーブル型式：CC3UA1D1R0xxx



モータ後部配線用プリント基板上の端子台配置図



Assignment with feedback F10 (Resolver)

PIN X13	Feedback /X13 High Density /Sub D
	Resolver (F10)
1	factory use
2	factory use
3	GND
4	REF-Resolver+
5	+5V (for temperature sensor)
6	factory use
7	SIN-
8	SIN+
9	factory use
10	Tmot*
11	COS-
12	COS+
13	factory use
14	factory use
15	REF-Resolver-

フィードバック用レゾルバとCOMPAX3の配線接続仕様

以下の表に従ってモータ側とX13(15ピンDサブコネクタ)を接続下さい。

EXモータ側ターミナル番号	COMPAX3 X13 15ピンDサブコネクタピン番号
1	12
2	8
3	11
4	7
5	4
6	15

2) モータ電源ケーブルと COMPAX3 の接続について

TH± は COMPAX3 に接続しないでください。



ケーブル型式：

- CC3UQ1D1R0xxx 電流12A以下
- CC3UQ2D1R0xxx 電流 30A 以下



Thermal sensor は COMPAX3 に接続せず、AC 電源用電磁開閉器コイル回路へ接続
 Brake はモータ後部に機械式ブレーキを搭載している場合のみ接続

モータ側		COMPAX3側
U	U phase	U
V	V phase	V
W	W phase	W
⊕	Ground	PE
Br+	Brake +	BR +
Br-	Brake -	BR-
TH+	Thermal sensor +	開閉器コイル回路
TH-	Thermal sensor -	開閉器コイル回路

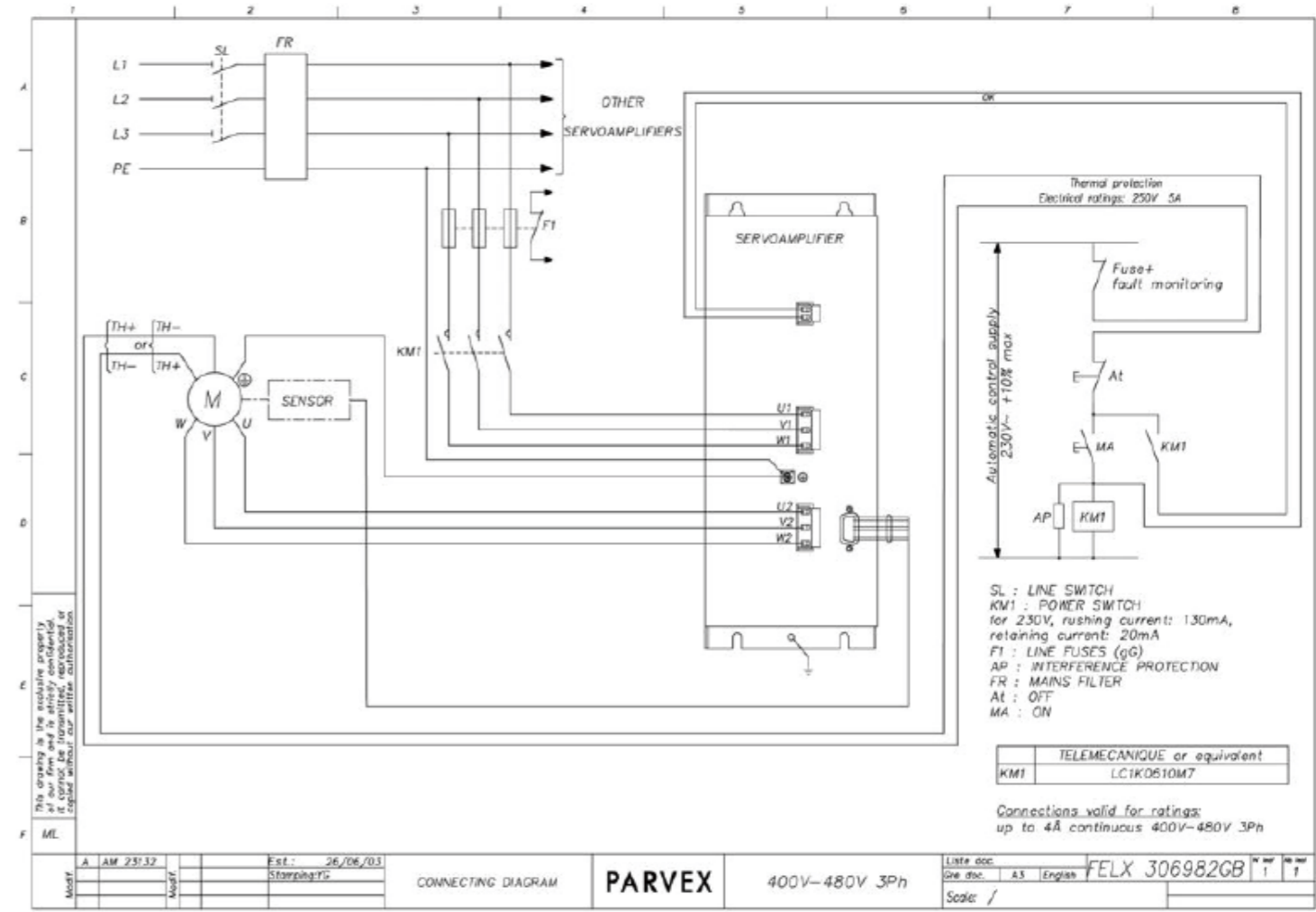
3) モータコイル過熱防止スイッチ (TH+, TH-, Thermic protector)

ドライブには第一次安全対策が施されていますが十分ではありません。安全対策として別途独立したリレー回路による保護が必要となります。

モータ内部には安全対策の為に2種類の温度センサが組み込まれています。これら2個のセンサはCOMPAX3用AC電源回路の電磁開閉器に対してシリーズに配線する必要があります。

1. 温度スイッチ
モータコイル部分に配置 125°C±5°Cで開 2個 温度低下によって機械的に閉となる。
2. 温度ヒューズ
モータフレーム部分に接触 130°C-5°Cで溶断 1個 温度上昇により温度スイッチが障害を受けた場合このヒューズが溶断し電源回路を切断させます。
この場合は復帰することは出来ません。

温度スイッチ、温度ヒューズ、ともにCOMPAX3用電源の電磁開閉器のコイルにシリーズに接続しておきます。設定の最大温度(危険温度)にモータコイルが達した時、開閉器が電源回路を遮断しモータへの出力を停止させます。



4) COMPAX3 用 AC 電源と制御電源の投入タイミングについて

DC24V 制御用電源を先に投入しておいて、その後動力用 AC 電源を投入するとエラー状態となりモータ駆動が出来ない状態になります。

DC24V 電源は AC 電源投入と同時に、または AC 電源投入後、に投入願います。



COMPAX3 ドライブ & ATEX EX310U、EX420U、EX430U UL仕様モータ ご使用上の注意事項

1) レゾルバケーブルと COMPAX3 の接続について (UL認定品では有りません)

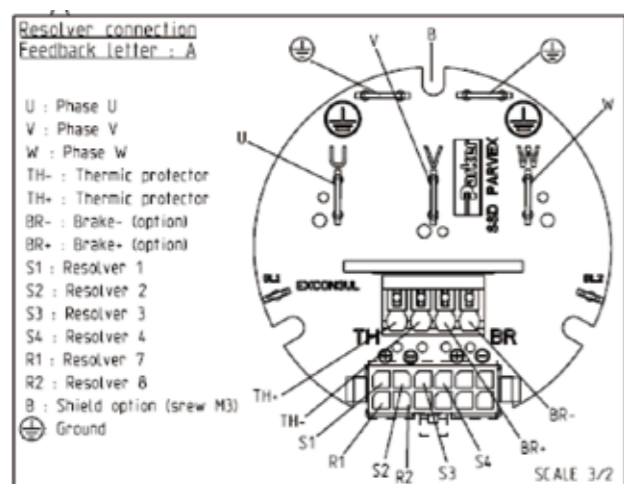
ケーブル型式: CC3UA1D1R0xxx



COMPAX3 側



モータ後部配線用プリント基板上の端子台配置図



Assignment with feedback F10 (Resolver)

PIN X13	Feedback /X13 High Density /Sub D Resolver (F10)
1	factory use
2	factory use
3	GND
4	REF-Resolver+
5	+5V (for temperature sensor)
6	factory use
7	SIN-
8	SIN+
9	factory use
10	Tmot*
11	COS-
12	COS+
13	factory use
14	factory use
15	REF-Resolver-

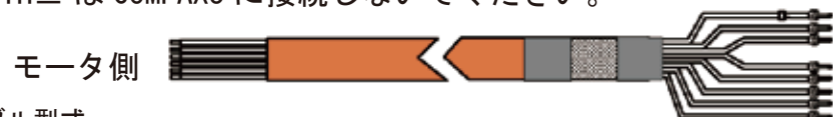
フィードバック用レゾルバとCOMPAX3の配線接続仕様

以下の表に従ってモータ側とX13(15ピンDサブコネクタ)を接続下さい。

UL モータ端子台番号	信号内容	電線色	15ピンDサブコネクタピン番号
S1	Cos +	Black (Black/White pair)	12
S2	Sin +	Black (Black/Blue pair)	8
S3	Cos -	White	11
S4	Sin -	Blue	7
R1	Ref +	Red	4
R2	Ref -	Black (Black/Red pair)	15

2) モータ電源ケーブルと COMPAX3 の接続について (UL認定品では有りません)

TH± は COMPAX3 に接続しないでください。

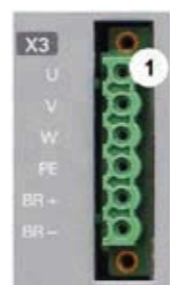


COMPAX3 側

ケーブル型式:
CC3UQ 1D1R 0xxx 電流12A以下
CC3UQ 2D1R 0xxx 電流30A以下

Thermal sensor は COMPAX3 に接続せず、AC 電源用電磁開閉器コイル回路へ接続
Brake はモータ後部に機械式ブレーキを搭載している場合のみ接続

モータ側		接続先/COMPAX3、他
U	U phase	COMPAX3 / U
V	V phase	COMPAX3 / V
W	W phase	COMPAX3 / W
⊕	Ground	COMPAX3 / PE
Br+	Brake +	COMPAX3 / BR+
Br-	Brake -	COMPAX3 / BR-
TH+	Thermal sensor +	開閉器コイル回路
TH-	Thermal sensor -	開閉器コイル回路



3) モータコイル過熱防止スイッチ (TH+, TH-, Thermic protector)

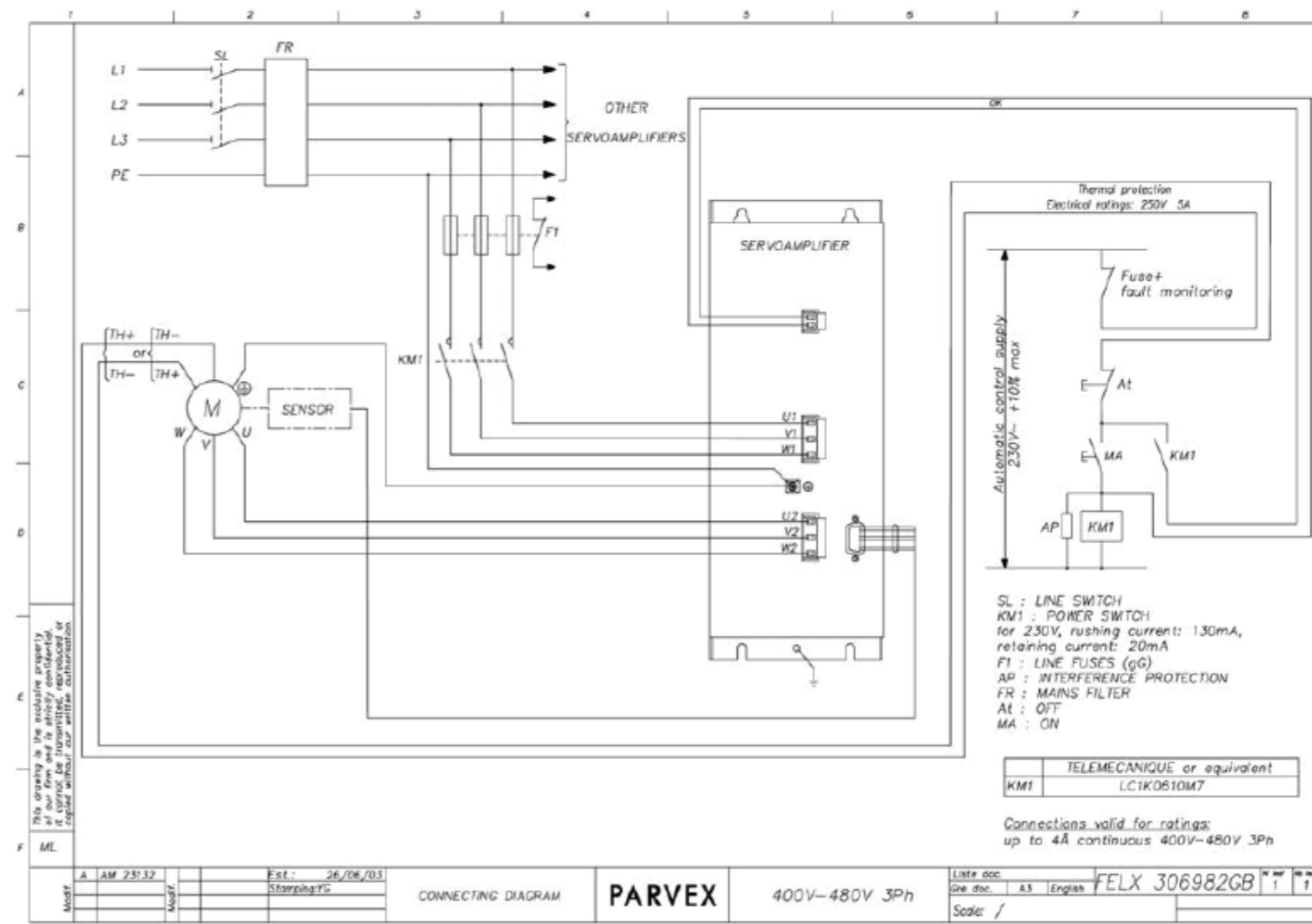
ドライブには第一次安全対策が施されていますが十分ではありません。安全対策として別途独立したリレー回路による保護が必要となります。

モータ内部には安全対策の為に2種類の温度センサが組み込まれています。これら2個のセンサはCOMPAX3用AC電源回路の電磁開閉器に対してシリーズに配線する必要があります。

1. 温度スイッチ
モータコイル部分に配置 125°C±5°Cで開 2個 温度低下によって機械的に閉となる。

2. 温度ヒューズ
モータフレーム部分に接触 130°C-5°Cで溶断 1個 温度上昇により温度スイッチが障害を受けた場合このヒューズが溶断し電源回路を切断させます。

この場合は復帰することは出来ません。
温度スイッチ、温度ヒューズ、ともにCOMPAX3用電源の電磁開閉器のコイルにシリーズに接続しておきます。設定の最大温度(危険温度)にモータコイルが達した時、開閉器が電源回路を遮断しモータへの出力を停止させます。



4) COMPAX3 用 AC 電源と制御電源の投入タイミングについて

DC24V 制御用電源を先に投入しておいて、その後動力用 AC 電源を投入するとエラー状態となりモータ駆動が出来ない状態になります。

DC24V 電源は AC 電源投入と同時に、または AC 電源投入後、に投入願います。